

■本マップ作成のねらい

垂水市周辺の活断層の中から、地震が発生した場合に市内に大きな影響を与えそうな震源を検討した結果、①鹿児島湾西縁断層と②鹿児島湾東縁断層が抽出されました。また、県地震被害想定調査においては、1914年の桜島大正大噴火の際に、噴火開始から約8.5時間後に発生した、桜島地震を念頭に鹿児島湾直下の地震を想定しており、震源域は鹿児島湾西縁断層帯とほぼ一致します。よって、今回は、県でも対象としている鹿児島湾直下の地震として鹿児島湾西縁断層帯（M6.8）を対象とした結果を、本マップでは拡大し掲載することとしました。

※活断層の位置は、垂水市建築物耐震改修促進計画に記載しています。

■あなたの家の中は大丈夫ですか？

家具が凶器にならないようにしましょう！

- 冷蔵庫などは転倒防止器具で固定しましょう！
- 棚には食器の滑り止めを取り付けましょう！
- ガラスには飛散防止フィルムを貼りましょう！
- L字金具で壁に固定！
- テレビは金具・チェーンなどで固定しましょう！
- 懐中電灯などはすぐに取れるところに設置しましょう！
- 戸締りにはカギを取り付けましょう！
- 安全な空間を確保するために、家具類の配置や転倒・移動防止措置を工夫しましょう！
- 家電製品、ピアノの固定には工夫が必要です。メーカーで専用固定具を製造している場合があるので、販売店などに相談してみましょう！



■あなたのお住まいは大丈夫ですか？

住宅の耐震性は、一般的に古い建物ほど低いといわれていますが、その他にも建物の老朽化や増築あるいは偏って大きな窓があるような配置のアンバランス等が倒壊のしやすさの要因であるといわれています。

住宅は、建築基準法により建築されますが、その法律も過去の地震被害の経験に基づいて改定されてきており、特に、昭和56年の改正では耐震基準の強化がなされています。この建築基準は、兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）の被害の検証からもおおむね妥当な耐震基準であると考えられています。

一方、平成7年1月17日に発生した、兵庫県南部地震での震災による死因の8割以上は家屋の倒壊や家具の転倒による圧迫死であったことが報告されています。ご自身や大切な家族の生命を守るためには、住宅の耐震化が重要です。

■非常持ち出し品リスト

地震から身を守る最大のポイントは、日頃の備え。急な避難に備えて、3日分を目安に、非常持ち出し品を常備しておきましょう。

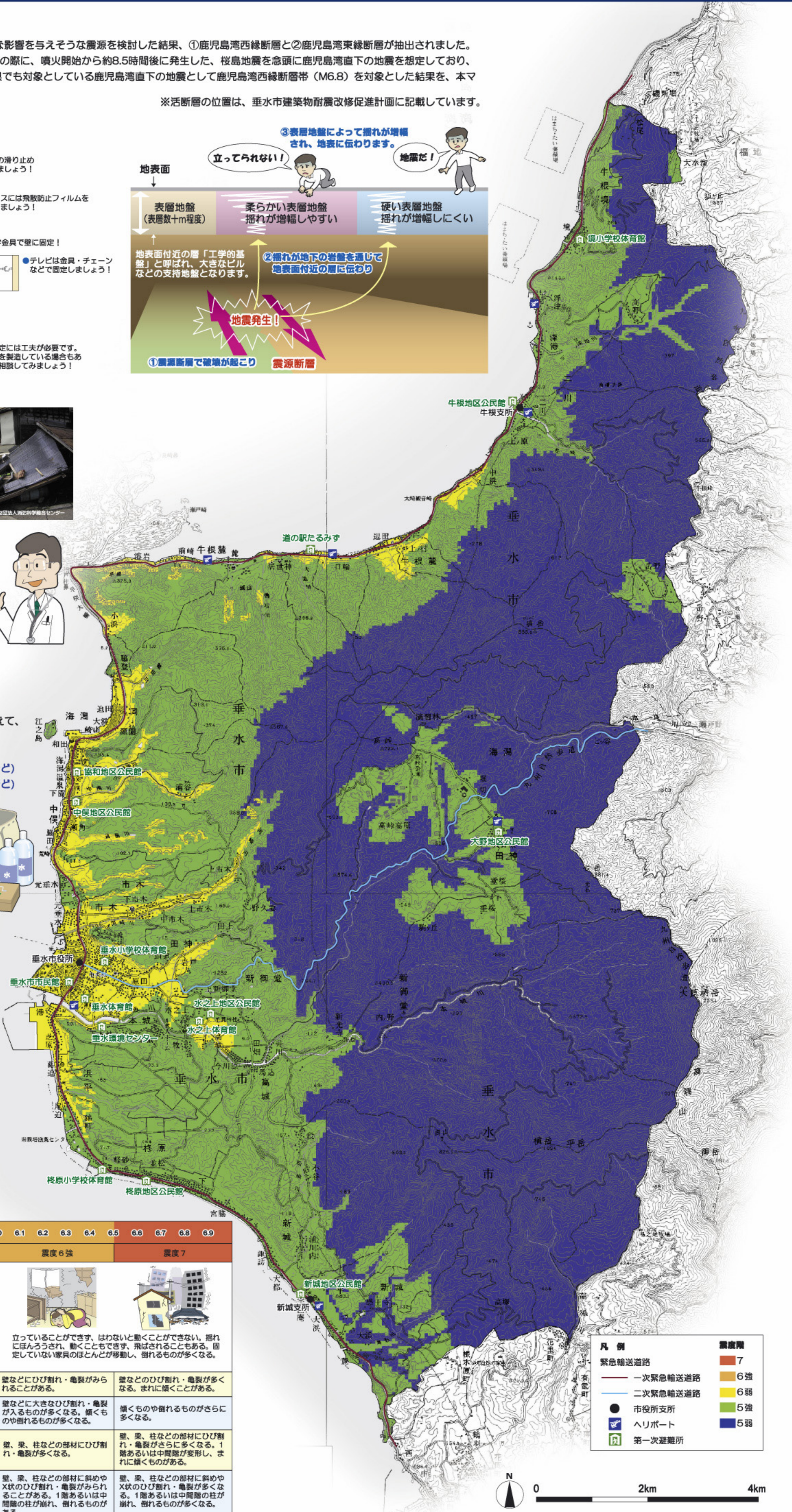
- 非常食品（缶詰・乾パン、飲料水、ミルクなど）
- 避難用具（ホイッスル、懐中電灯、携帯ラジオ、予備の電池など）
- 生活用品（ろうそく・ライター、ビニール袋（大）、ロープなど）
- 救急用具（緊急医療品、常備薬、生理用品など）
- 衣料品（下着・靴下、防寒着・雨具、紙おむつなど）
- 貴重品類（現金・10円玉は公衆電話用に便利です）

■緊急時連絡先一覧

市関係機関	
市役所 総務課	TEL 0994-32-1111
牛根支所	TEL 0994-36-2001
新城支所	TEL 0994-35-2001
消防関係機関	
市消防本部	TEL 0994-32-1019
牛根分遣所	TEL 0994-36-3119
警察関係機関	
垂水幹部派出所	TEL 0994-32-0110
牛根駐在所	TEL 0994-32-2025
海潟駐在所	TEL 0994-32-0617
水之上駐在所	TEL 0994-32-1132
垂水南駐在所	TEL 0994-35-2021

■震度の説明

計測震度	5.1	5.2	5.3	5.4	5.5	5.6	5.7	5.8	5.9	6.0	6.1	6.2	6.3	6.4	6.5	6.6	6.7	6.8	6.9
震度階	震度5強				震度6弱				震度6強				震度7						
状況																			
木造	高い耐震性				低い耐震性				高い耐震性				低い耐震性						
コンクリート造	高い耐震性				低い耐震性				高い耐震性				低い耐震性						



凡例

- 緊急輸送道路
- 一次緊急輸送道路
- 二次緊急輸送道路
- 市役所支所
- ヘリポート
- 第一次避難所
- 震度階
- 7
- 6強
- 6弱
- 5強
- 5弱

